

大阪府工業指数2021年8月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…96.6 前月比▲1.3% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、食料品工業、電気・情報通信機械工業など7業種が低下し、化学工業、電子部品・デバイス工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、無線通信装置(除. 移動通信装置)、ショベル系掘削機械等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、6.2%と6か月連続の上昇となった。

(2) 出荷指数…92.4 前月比▲2.6% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、輸送機械工業など10業種が低下し、化学工業、金属製品工業など4業種が上昇した。

品目別にみると、小型乗用車、エチレン等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、4.2%と5か月連続の上昇となった。

(3) 在庫指数…94.9 前月比▲0.2% 4か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業など5業種が低下し、食料品工業、汎用・業務用機械工業など8業種が上昇した。

品目別にみると、鉄鋼切断品、飲料用アルミニウム缶等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲1.5%と11か月連続の低下となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2021年7月	97.9	▲ 5.0	100.6	1.3
	2021年8月	96.6	▲ 1.3	89.4	6.2
出 荷	2021年7月	94.9	▲ 3.5	97.6	0.5
	2021年8月	92.4	▲ 2.6	86.5	4.2
在 庫	2021年7月	95.1	2.6	96.3	▲ 0.7
	2021年8月	94.9	▲ 0.2	95.4	▲ 1.5

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 1.3%

上昇 7業種
低下 7業種
横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	1.222	6.4	医薬品、合成アセトン
	電子部品・デバイス工業	0.551	19.3	アクティブ型液晶パネル
	窯業・土石製品工業	0.142	6.2	光学用ガラス素地、生コンクリート
	生産用機械工業	0.136	1.2	超硬工具、バンディングマシン
	輸送機械工業	0.073	1.3	鉄道車両部品、輸送機械用エアコン(除. 乗用車用)
	金属製品工業	0.055	0.7	橋りょう、産業用アルミニウム製品
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.043	2.9	段ボール原紙
	その他の上昇した品目			フェノール【化学工業】、 開閉制御装置【電気・情報通信機械工業】
低下	食料品工業	▲0.581	▲6.6	チョコレート、ビール・発泡酒
	電気・情報通信機械工業	▲0.403	▲2.9	無線通信装置(除. 移動通信装置)、標準変圧器
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.394	▲5.2	鉄鋼切断品、亜鉛めっき鋼板
	その他工業	X	X	繊維板・パーティクルボード、 ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)
	プラスチック製品工業	▲0.310	▲7.0	プラスチック製機械器具部品、 プラスチック製フィルム・シート
	汎用・業務用機械工業	▲0.192	▲2.5	ポンプ、固定比減速機
	石油・石炭製品工業	X	X	ガソリン、重油
	その他の低下した品目			ショベル系掘削機械【生産用機械工業】、 小型乗用車【輸送機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	鉄道車両部品	輸送機械工業
	2	医薬品	化学工業
	3	合成アセトン	化学工業
	4	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	5	橋りょう	金属製品工業
	6	超硬工具	生産用機械工業
	7	フェノール	化学工業
	8	開閉制御装置	電気・情報通信機械工業
	9	非標準変圧器	電気・情報通信機械工業
	10	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
低下	1	無線通信装置(除. 移動通信装置)	電気・情報通信機械工業
	2	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	3	小型乗用車	輸送機械工業
	4	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	5	鉄道車両	輸送機械工業
	6	プラスチック製機械器具部品	プラスチック製品工業
	7	チョコレート	食料品工業
	8	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	9	ビール・発泡酒	食料品工業
	10	鉄鋼切断品	鉄鋼・非鉄金属工業

(2)出荷

前月比

▲ 2.6%

上昇 4業種
 低下 10業種
 横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	0.953	7.5	医薬品、フェノール
	金属製品工業	0.489	5.8	橋りょう、産業用アルミニウム製品
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.059	4.4	段ボール原紙
	窯業・土石製品工業	0.052	2.8	生コンクリート、光学用ガラス素地
	その他の上昇した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】、 ナフサ【石油・石炭製品工業】
低下	電気・情報通信機械工業	▲0.931	▲8.9	無線通信装置(除. 移動通信装置)、 セパレート形エアコン(室外)
	輸送機械工業	▲0.815	▲8.5	小型乗用車、鉄道車両
	食料品工業	▲0.724	▲8.8	ビール・発泡酒、チョコレート
	石油・石炭製品工業	X	X	軽油、ガソリン
	その他工業	X	X	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)、 マーキングペン
	生産用機械工業	▲0.292	▲2.7	ショベル系掘削機械、ダイカストマシン・鋳型機械
	汎用・業務用機械工業	▲0.173	▲2.6	ポンプ、固定比減速機
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.113	▲0.9	鉄鋼切断品、普通鋼鋼帯
	プラスチック製品工業	▲0.045	▲1.1	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製パイプ
	電子部品・デバイス工業	▲0.021	▲4.2	電子回路基板
	その他の低下した品目			エチレン【化学工業】、プロピレン【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫

前月比

▲ 0.2%

上昇 8業種
 低下 5業種
 横ばい 0業種

計 13業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	食料品工業	0.532	12.8	ハム・ソーセージ、チョコレート
	汎用・業務用機械工業	0.402	3.9	パッケージ形エアコン、汎用内燃機関
	生産用機械工業	0.312	19.2	金属工作専用機
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.112	6.6	段ボール原紙
	電気・情報通信機械工業	0.084	0.6	陸上移動通信装置、電気冷蔵庫
	輸送機械工業	0.054	1.8	電動アシスト自転車
	化学工業	0.031	0.2	柔軟仕上げ剤、溶剤系合成樹脂塗料
	窯業・土石製品工業	0.021	1.8	板ガラス、無アルカリガラス基板
	その他の上昇した品目			軽油【石油・石炭製品工業】、 ジェット燃料油【石油・石炭製品工業】
低下	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.908	▲4.1	鉄鋼切断品、普通鋼鋼矢板
	金属製品工業	▲0.425	▲3.8	飲料用アルミニウム缶、ワイヤロープ
	プラスチック製品工業	▲0.056	▲1.4	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製日用品・雑貨
	その他工業	X	X	繊維板・パーティクルボード、特殊車両用タイヤ
	石油・石炭製品工業	X	X	灯油、ガソリン
	その他の低下した品目			精密測定機【汎用・業務用機械工業】、 研削盤【生産用機械工業】

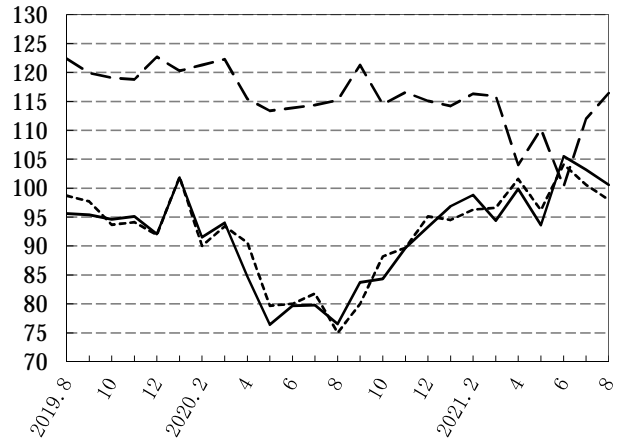
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

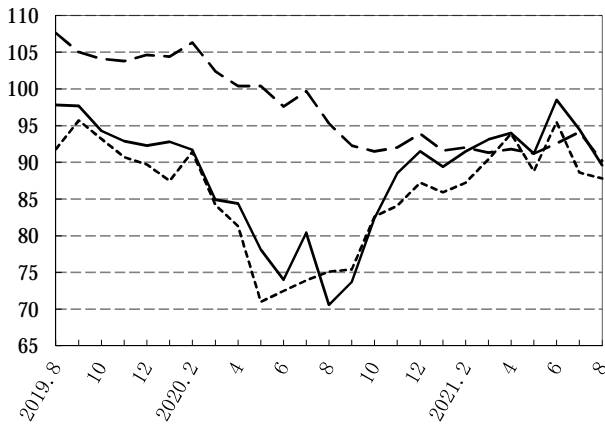
数値は季節調整済指数
2015年=100

生産 ————
出荷
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



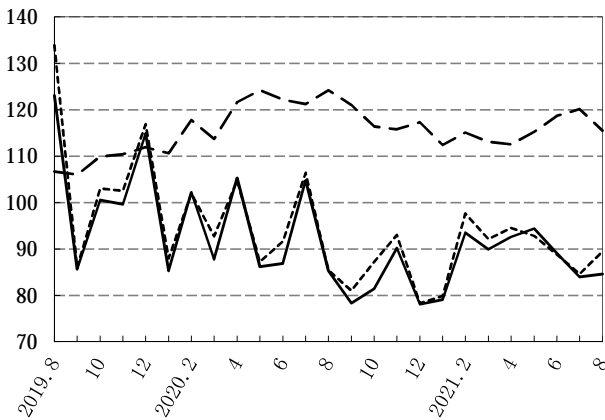
鉄鋼・非鉄金属工業



電子部品・デバイス工業



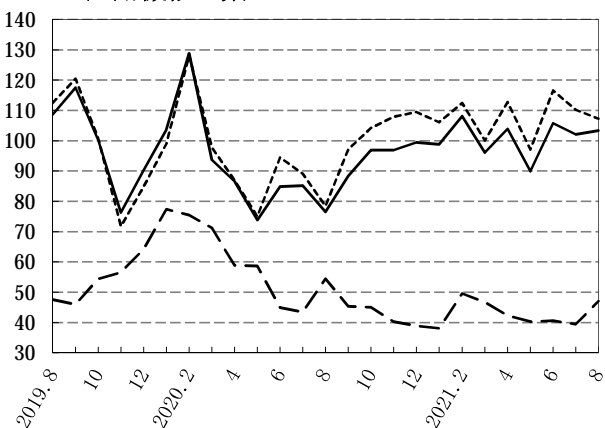
金属製品工業



電気・情報通信機械工業



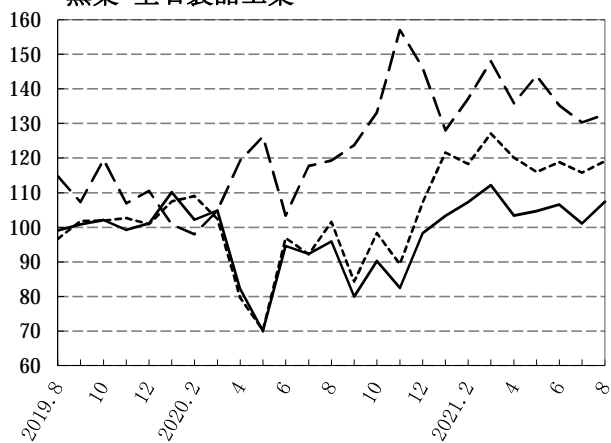
生産用機械工業



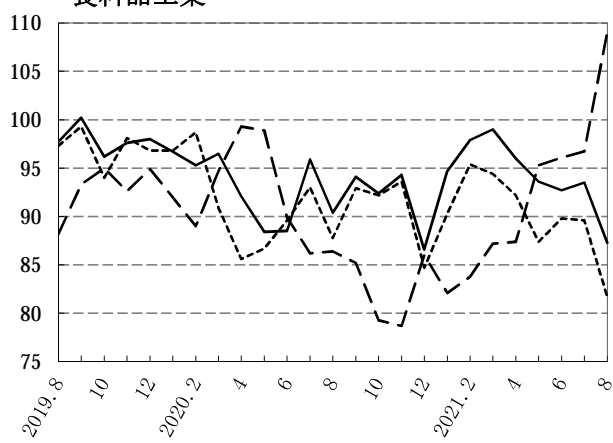
輸送機械工業



窯業・土石製品工業



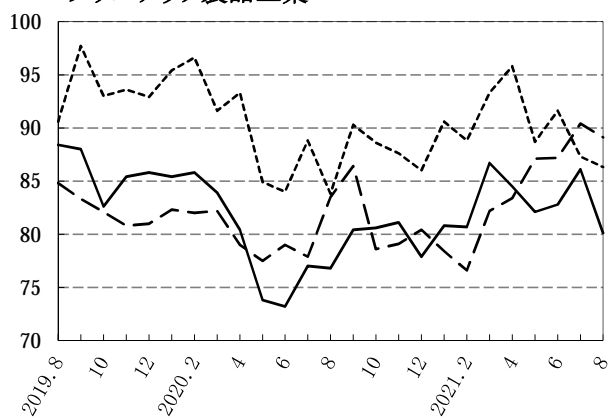
食料品工業



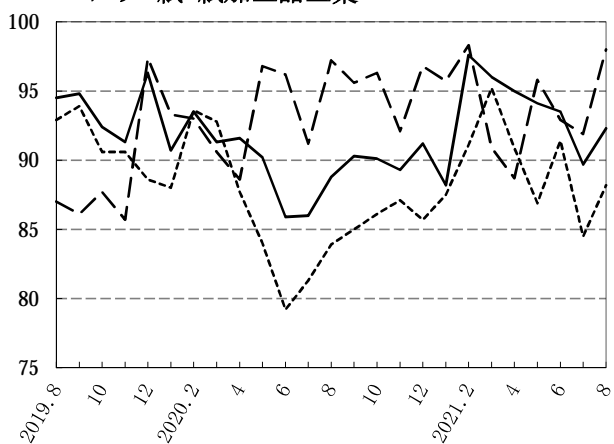
化学工業



プラスチック製品工業



パルプ・紙・紙加工品工業



注:「石油・石炭製品工業」「その他工業」は、秘匿に該当するため、掲載していません。

4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	96.6	▲ 1.3	95.0	▲ 3.2	96.3	▲ 2.7
出荷	92.4	▲ 2.6	92.7	▲ 3.8	95.4	▲ 0.8
在庫	94.9	▲ 0.2	94.7	▲ 0.3	97.5	0.3

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、**2015年(平成27年)**です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成**31年**1月速報(**2019年3月29日**公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。「X」…… 秘匿に該当することを示す。

3 年間補正

毎月の確報値の公表後に月別の実数値(経済産業省生産動態統計調査などの指数値の計算に利用するデータ)が補正されたため、**2019年**の年間補正を行いました。

補正後の指数値は、**2020年6月速報(2020年8月31日**公表)から公表しています。

2020年1月以降の指数値についても、**2020年**の年間補正により変更される場合があります。

4 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など**1年**間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

5 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)